

(Strip Downtown Express)と、各主要ホテル前のバス停に停車する DEUCE の 2 種類のバスがあり、RTC の乗車券を購入すると、SDX と DEUCE どちらのバスにも乗車できます。

乗車券は基本的にバスに乗る前に事前購入が必要で、バス停附近に自動券売機が設置されています。早速、ホテルの向かい通りに渡り MGM グランド前のバス停に行き、プリペイドカード式の乗車券を購入、乗車券は 2 時間券・1 日券・3 日券・30 日券の 4 種類があり、今回まずは 1 日券を購入してみました。

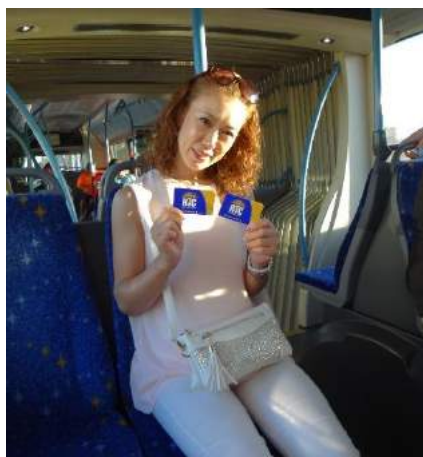
ここで、日本と大きな違いは 1 日券（24 時間券）は、購入した時刻から 24 時間有効、つまり今回 PM 5 時 50 分に購入したため、翌日の午後 5 時 50 分まで利用可能で、カードの裏に購入日時と有効日時が印字されます。1 日券は \$ 8（約 850 円）、2 枚で合計 \$ 16 をクレジットカードで購入すると、すぐに SDX のバスがやってきました。SDX の車両はヨーロッパ製のディーゼル・ハイブリッド 2 連結で、エコ業界から高い評価を得ているそうです。



< R T C 乗車券の券売機 >



< 一見、電車のような外観の SDX >



R T C 乗車券

裏面には有効時間が印字



バスに揺られること約 20 分、どこのバス停で下車していいのか少々不安な面もありましたが、ダウンタウンに無事到着、目的の『フリーモントストリート・エクスペリエンス』のすぐ傍で降りることができました♪

フリーモントストリートは、アーケード天井をビデオスクリーンにした世界最大の「ビバ・ビジョン」で、総工費約 80 億円、長さ約 420 メートルの天井に 1250 万個の LED と総出力 55 万ワットの高性能音響システムが装備され、24 時間歩行者天国で毎夜 8 時から 1 時間に 1 回、6 分間の音と映像のショーが上映されます。



＜カジノのネオンは昔ながらのスタイル＞



＜420mのネオン天井は圧巻！＞

今回で2回目となりますが、やはり圧倒的な音響と映像の迫力に思わず天井をずっと見上げてしまいます。また、アーケード内の左右にはカジノがひしめき合い、数々の路上パフォーマンスや芸術家のアート、土産店など古き良き時代のラスベガスがいまだに残されています。

アーケードを端から端まで歩き、ショッピングや、軽くスロットマシンやルーレットを楽しみ。カジノ内のハンバーガーショップで夕食を取り、深夜 11 時くらいまでダウンタウンの夜を楽しみ、帰りも SDX に乗り、噴水ショーで有名なベラージオ前でバスを下車、ホテルまでストリップのネオンを楽しむために歩いて戻りました。寝たのは午前 2 時（もうクタクタ）



＜パフォーマーに 1 \$ 支払い記念撮影♪＞



＜カジノ内で食べたバーガーは最高に美味＞

＜7月16日（土）：4日目＞

昨夜の就寝時刻が遅かったため、起きたのは9時過ぎ（>_<）

今日は、プレミアムアウトレット・サウス（南）に行く予定にしているため、バタバタ準備をして10時半過ぎにホテルを飛び出しました。

ラスベガスには、プレミアムアウトレットが2つあります。一つは、昨日行った郊外型のノース（北）、そしてもう一つは、室内ショッピングモール型のサウス（南）です！

前回は、トラム（モノレール）とタクシーを乗り継いで行きましたが、今回は公営バスで行ってみることにしました。ホテルの前にバス停があったため少し待っていると、DEUCE が来たので、早速昨日購入した RTC の乗車券を利用してバスに乗り込みました。

DEUCE は、各バス停に停車する2階建のバスです、車内はガラガラだったので見晴らしの良い2階

の最前列に座り、ストリップを南下、トロピカーナ交差点を抜けると、右手に古代中世ヨーロッパのサーサー王の城をイメージした『ホテルエクスカリバー』、続いてピラミッド型ホテルで有名な『ルクソール』が見えてきました。



＜おとぎの国のようなエクスカリバー＞



＜ピラミッド型のルクソールホテル＞

そしてバスは、黄金色に輝く『マンダレイベイホテル』前のバス停に停車、他の乗客が慌しく下車し始めました。結局、バスの中は自分たち二人だけになり発車、しかし… しばらく南下するとバスはいきなりUターンし始めました(@_@)

慌ててバスの運転手に「このバスはプレミアムアウトレットサウスにはいかないのですか？」と訊ねると、運転手は「プレミアムサウスに行くには、マンダレイベイホテル前のバス停で高速バスのSDXに乗り換えなければならないよ」と教えてくれ、すぐにバスを停めてくれました。

バスから降りて、気温40℃の灼熱の中、徒歩で10分くらいかけてマンダレイベイホテル前のバス停に戻り、SDXに乗り換え何とか目的地のプレミアムサウスに到着しました。



＜2階建バス DEUCE の最前列＞



＜屋内型のプレミアムアウトレットサウス＞

何だかんだでプレミアムサウスに着いたのは結局12時前、朝食をとっていなかったため腹ペコ、まずはフードコートでランチを取ることにしました。8店舗くらいのフードコートをひと通り周って、あすかはDQ（デイリー・クイーン）でチーズサンド、自分はチキン・ナウという店でチキンドッグ、それぞれアメリカンジャンクフードで腹ごしらえし、いざショッピングスタートです！

まずは、一番お目当ての「アンダーアーマー」へ、2年前あすかがギリギリまで迷って買わなかった

パーカーを探すものの、いいもの全くなし（・・;) 全体的に今回のアンダーアーマー店内は、これといあったものがなく、とりあえず、あすかがスポーツサンダル、長男良樹のお土産にTシャツを買ってすぐに次の店へと移動しました。

次に前回とてもいいデザインがたくさんあったため、今回も楽しみにしていた **POLO** の店に入りましたが、目ぼしいものがなくガックリ、続いて **Timberland** や **Quiksilver** に行ってみたものの今イチでかなり消沈、最後に **COACH** に入ってみました。**COACH** でバックを色々を見て周っていると、靴のコーナーがありカッコいいローファーを発見(@_@)

色々悩んだ末にデザイン違いの2足に絞り込み、履いてみると両方とも気に入ってしまい、どちらを買おうか悩んでいると、あすかが「2足とも買ったら！」と一声、お言葉に甘えて2足ともGET！とても満足しました♪

PM4時前にホテルに戻りたかったため、3時間ちょっとサウスでのショッピングを楽しみ、帰りもSDXのバスで帰るためバス停に向かいました。

事前にネットで調べていたものの、バスを使つての帰り方は少し複雑で心配でした。通常は、降りた同じ通りの反対側にバス停があるのが普通ですが、サスからバスで帰るためには、まず行きで降りた同じバス停からSDXに乗り、次の停留所「South Strip Transfer Terminal」のBay4（4番乗り場）でいったんバスを降りて、すぐ前にあるドアからターミナルビルを抜けて反対側にあるBay14（14番乗り場）に行って乗換えが必要なのです。下調べのおかげで迷うことなくバスに乗り換えれて、予定通りPM4時前にホテルに戻ることができました。



<サウスでのショッピングはまずまず>



<帰りのバスはこのターミナルを抜けて>

部屋に、ショッピング荷物を置いて、すぐにホテルのカジノフロアに向かいました。お目当ては、今日の夕食の「BUFFET」に行くためです。

ラスベガスは、ほとんどのカジノホテルで **BUFFET**（ビュッフェ？バッフェ？）、日本で言えば定額料金で 食べ放題のバイキングスタイルのレストランがカジノフロアにあります。

BUFFET について色々調べてみると、ラスベガスにおけるバッフェの存在は非常に大きいらしく、カジノを持つホテルにとって **BUFFET** 運営の成否がカジノ収益を左右すると言っても過言ではないほどの存在のようで、安くおいしい食事を提供することにより少しでも多くの客を集め、一人でも多くの客にカジノでお金を使ってもらいたいという戦略が、ベガスのバッフェの規模も内容も世界で例を見ないほど派手なものになっているそうです。

また、**BUFFET** は曜日や時間帯によって料金が変わります。だいたい朝7時から11時までは朝食

タイム (19\$ 約 2000 円)、11時からPM4時までがランチタイム (20\$ 約 2100 円)、PM4時から10時くらいまでがディナータイム (28\$ 約 3000 円) となっていて、週末は2～3割程度料金が高くなります。ただし、ラスベガスの **BUFFET** の時間帯はあいまいらしくて、PM4時からがディナータイムとなっているにもかかわらず、例えば5分前の3時55分に入るとランチタイム料金で、そのままディナータイムを味わうことができるらしいとの情報でした。ディナータイムでは、ステーキやカニ、カキなどの高級食材が追加され豪華料理に変身するので狙い目です＼(～o～)／

下調べの計画どおり、4時前にランチタイム料金でモンテカルロホテルの **BUFFET** に入ると、すでにディナータイム用のカニやステーキなどの豪華食材が並べられていました。

飲み物もアルコール以外は飲み放題で、ソフトドリンクのサーバーが設置されています。まずは、前回、とても美味しかったローストビーフをメインに肉料理にターゲットを絞り皿に盛り込みます!(^^)! あすかは、パン、ピザ、ハム、サラダ、BBQリヴ、カニなどを少しずつ皿に盛り込みました。

モンテの **BUFFET** は、ローストビーフが有名で、その場でシェフが切り落としてくれ、味はやはり格別でしたが、とにかく切り方が大きくてそれだけでもお腹がいっぱいになってしまいます (^_ ^)

肉料理を程々に口にし、カニと貝類に移り、最後はデザートにメロンやスイカなどフルーツで仕上げ、二人とも大満足の夕食となりました (^^)♪



BUFFET を出たのはPM5時過ぎ、RTCのバスチケットの時間がわずかに残っていたため、バスに乗って **WALMART** (ウォルマート) へ行ってみる事にしました。

ウォルマートは、ご存知のとおり世界最大のスーパーマーケットでアメリカ国内だけでも5000店舗以上、世界中で10000店を越す店舗数を誇り、年間の売上高は何と約45兆円、トヨタ自動車の売上げが約22兆円ですから、トヨタの約2倍の売上げがあるわけなので、さすがにアメリカの規模は桁違いです(・・;)

ウォルマートには、以前ハワイでは何度か行ったことがありますが、ベガスのウォルマートは初めてです。ストリップから、6kmくらい離れているため車がないと行くことができません。バス乗り場は事前にしらべていたので、早速バス停まで歩いて行きました。MGM前のトロピカーナ交差点を西へ100m程行くとバス停があり、「201線東行」のバスを待っていると5分くらいで目的のバスが来ました! バスに乗ってすぐに隣に座っている黒人の中年女性から話しかけられました。

黒人女性：「中国人？」

自分：「いいえ、日本人です」

黒人女性：「オレンジ色の素敵なシャツを着てるわね」「オレンジは私のラッキーカラーよ！」

自分：「そうなんですね」「良かったです♪」

黒人女性：「日本人がバスに乗ってどこに行くの？」

自分：「WALMART です」

黒人女性：「それだったら、この人が降りるバス停で一緒に降りるといいわ」

自分：「本当ですか」「ありがとうございます」「降りるところが不安だったので助かります」

そう言って、黒人女性は隣に座っている女性を紹介してくれました。さらに、前に座っている白人男性も会話に加わってきて、たどたどしいながらバスの中で英会話を楽しみました。



そうこうしていると、バスの運転手が突然車内放送をしました。車内放送の内容はさすがに聞き取れなかったものの、乗客の3人一同が難しい顔をしました(@_@)

黒人女性：「前を見て見なさい」「道路が工事中で片側通行になっているので迂回するそうよ」「WALMART はこの先の道路沿いなので迂回すると WALMART には行けないわ」

マジかぁー 方角は何とか分かるものの、全く土地勘のないところでバスを降りて歩いて行くなんてどうしようと、困った顔をしていると、白人男性が立ち上がってバスの運転手に何か話しかけました。

白人男性：「運転手に迂回ルートをできる限り WALMART に近い道を通ってもらうようお願いしたいよ！」

異国の地で、思わぬ人々の優しさに触れて本当に嬉しかった♪ そしてバスは、迂回（右折）しました。しばらくして黒人女性が、「ここで降りるといいわよ」と言ったのでバスを降りると、一緒に降りた女性が何と WALMART まで一緒に歩いて案内してくれました！



<WALMART 到着！駐車場の広さが圧巻>



<店内はロープライスで商品も豊富で大満足>

やっとの思いで **WALMART** に到着、広い駐車場を横切り店内に入ると、アメリカらしい商品が陳列されていて、見ているだけでも楽しく端から端まで散策し、いろいろなお土産を買い漁りました!(^^)!

1 時間半ほどショッピングを楽しみ、帰りのバス停を探しました。**WALMART** の前の道路を渡って東側に数分歩くとバス停があったので少し待つとバスがやってきました。

バスの乗車券は、24 時間券だったため、帰りは有効期限が切れています。バスに乗って、すぐに運転手に期限切れの乗車券を見せると、二人で 6 ドル支払うように言われたため、6 ドル手渡すと、乗車券を機械に通して返してくれました。乗車券の裏面を見ると、さらに 24 時間有効期限が追加されていました。一人 3 ドルで有効期限 24 時間追加されるとは、何とラッキー☆と思いながらホテルに向かってバスは走り出しました。

15 分程で、**MGM** グランドホテル手前のバス停でバスを降り、**MGM** の中に入ってみました。**MGM** に入った理由は、明日予約しているショーの会場の場所を確認するためです。**MGM** は、客室数 5004 室の世界最大のホテルで、あまりにも広いためホテルの宿泊客さえも迷子になってしまうこともあるそうで、事前にショーの場所を確認して当日慌てないようにするためです。

駐車場側のホテル正面入口から **MGM** に入ると、メインホールにボクシングのリングが張られていて、数日後に試合があるような雰囲気でした。ホテル内を少し散策すると「KA」という標識が見えたので、その方向へ行ってみるとショーの会場がすぐに分かりました。



<世界最大の部屋数を誇るMGM>



<リングにはMGMのシンボル GOLD ライオン>

ショー会場の場所確認ができたので、**MGM** カジノのスロットマシーンをしました。ホテルの規模も桁違いですがカジノフロアの面積も桁違い、スロットの種類も豊富で、前は結構遊ばせてもらいましたが、今回はついてないのか全くかからずここでも惨敗でした”(- “ -)”

MGM を出て、トロピカーナ交差点のニューフォーコーナー歩道橋を渡り、宿泊ホテルのお隣のホテルニューヨークニューヨークにやってきました。目的は、**NYNY** 最大のアトラクション「ザ・ローラーコースター」に乗るためです！

ザ・ローラーコースターは、コースター自体は普通の遊園地のコースターと同じようなものですが、通るコースや内容が凄過ぎ(^ _ ^) **NYNY** の外壁や自由の女神の周遊、高層ビルの窓をかすめるように走るそうで圧巻の迫力、さらに夜に乗車すると、ストリップのネオンの洪水がめまぐるしく変わる夜景は感動的だといわれています。

早速、カジノフロアの 2 階のゲームコーナーの奥にある乗り場に行ってみると、金曜日の夜ということもあってか凄い人の行列でとても並ぶどころではない状態だったため、あえなくリタイヤ、次回の楽しみにとっておくことにしました(-_-#)

さて、これから何をしよう？ラスベガスの夜は長～い、まだ PM 9 時、ローラーコースターを諦め、

『フォーラムショッप्ス』に行くことに決定！モンテカルロから、ストリップ中心部のフォーコーナーにあるベラージオまで無料トラム（モノレール）に乗り込みました。ベラージオに着き、フォーラムショッप्スまで歩いていると、ベガス人気ナンバーワン、ベラージオの夜の噴水ショーが始まり、その美しい光景に浸りながらストリップを北に歩くと左側にシーザーパレスが見えてきました。

シーザーズパレスは古代ローマ帝国をテーマにしたホテルで、ホテルに併設されたローマコロシウム型のシアターでは、セリヌディオン、エルトンジョン、マライヤキャリーなどの定期公演なども行われています。



<ベラージオの夜の噴水ショー>



<光と水と炎のアトランティスショー>

フォーラムショッप्スは、そのシーザーズパレスホテルに併設されたラスベガスでも有数のショッピングモールで約 160 店舗のブティックやレストランが入っています。正面入口はローマにある『トレビの泉』を再現していて、施設内の天井にはどこまでも続くような青空が描かれ、壁には彫刻が刻まれ、モール内の至る所に彫刻の像が置かれていて、まさにローマを感じさせてくれます。さらに縦長のショッピングモールの中央には、「神々の噴水（Fountain of the Gods）」と一番奥の「アトランティス（Atlantis）」では、毎日 AM11 時から 1 時間ごとに、光と水、炎のダイナミックなアトランティスショーが開催されます。

トレビの泉の横からフォーラムショッप्スへ入るとすぐに名物の一つである、らせん状のエスカレーターで 2 階に上がりました。お目当ては、前回メンズの格好いいバックを買ったコーチと、あすかが今回の旅行で狙っていたトリバーチのリックを探すためです。

コーチの方は、これといったものもなく、続いてトリバーチでリックを探すものの気に入ったものはなく、諦めて奥へと進んでいくと、彫刻で造られた珍しい椅子などを発見し記念撮影、さらに奥に行くと、赤い光と音楽が聞こえてきました。



<店内には色んな彫刻が>



<昔のベガスの面影を残すカジノ Royale>



<foot long hot dog>

音と光の正体はアトランティスのショーでした。ちょうど、ショーはクライマックス前で盛り上がっていましたが、大人が見てもそんなに面白い内容ではなく、一度見ればもういいかなって感じでした。

フォーラムショップスを出て、横断歩道を渡り、続いては『カジノ Royale』に入ってみました。お目当ては、前回一番美味しかったホットドック『FOOT LONG HOT DOG』を食べるためです(*^^)v FOOT LONG HOT DOG は、その名のとおりに長い靴ほどある巨大ホットドックで圧巻の大きさですが、味の方も絶品です♪

記憶を辿りながらカジノの奥にある店を発見、しかし看板が変わっていて、値段も 1 ドル 99¢ から 2 ドル 49¢ に値上がりしていました(-.-)

そこはさておき、早速ホットドックを注文し、スロットマシーンを回しながら二人で食べましたが、やはりここのはデカくて味も抜群「美味しい〜」 スロットの方は、ここでも惨敗でしたがホットドックに満足し、今日もストリップのネオンを楽しむため、ホテルまで歩いて帰りました(^_-)☆

< 7 月 1 7 日 (日) : 5 日目 >

ベガス旅行も残すところあと 2 日、今日の予定は夜シルク・ドゥ・ソレイユのショーを観に行く以外何も入っていないため、ストリップの中心フォーコーナーから北側のエリアを散策することにしました。

まずは、腹ごしらえ、眠らない街ベガスでは、とにかく夜が晚いためいつも起きるのは AM 9 時過ぎ、今朝も例外ではなく起きてシャワー浴びてホテルを出るのは 10 時をゆっくり過ぎてました(-_-#)

今日の朝食は、以前から一度行ってみたかった『FATBURGER』、ホテルから歩くこと約 5 分で到着、FATBURGER は 1952 年ロサンゼルス発祥で、現在アメリカで 26 店舗を展開、うちベガスに 2 店舗の小規模なバーガー店ですが、地元ロスでは熱狂的ファンも多いことで知られていて、創業者の趣味がオールデーズということで、店内はオールデーズ調で統一され古いジュークボックスが置かれ、壁にはプレスリーなどの写真も飾られています。

店内に入ってみると、レジで先に商品を注文し席で待つというスタイルでした。バーガー・ポテト・ソフトドリンク付のセットメニューを注文すると、早口の英語で色々聞かれました。早口だったため、あまり聞き取れなかったものの、何となく「ハンバーガーの中身に入れて欲しくないものはありませんか？」という内容だと分かり、とりあえずピクルスを抜いてもらいました。

ソフトドリンクはここも、空のカップを渡され好きなものを好きな量だけ自分で入れて飲む、お替り自由のフリードリンクでした。



< 24 時間営業の FATBURGER >



< 店内は派手なデザイン >